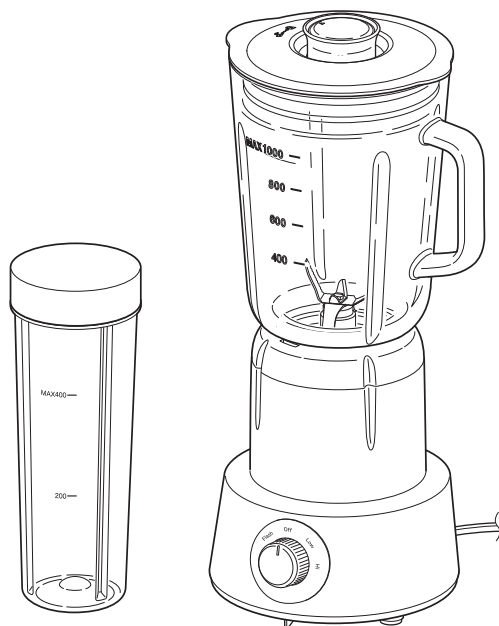


ミキサー KMX-1001

取扱説明書 (保証書付)

ご使用前に必ずお読みください。



目次

安全上のご注意	1~5
知っておいただきたいこと	6
安全装置(ボトル検知装置)について	6
運転について	6
モーター保護装置について	6
定格容量について	6
禁止材料について	7
各部のなまえ	8
ミキサーボトルの使いかた	9~12
タンブラーの使いかた	13~16
レシピ	17
お手入れと保管のしかた	18~21
お手入れ	18~20
保管	21
故障かな?と思ったら	22
仕様	23
アフターサービスについて	25
お客様の個人情報のお取り扱いについて	25
保証・無料修理規定	26
保証書	27
お客様相談窓口	27

このたびは、コイズミ ミキサーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
 正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
 なお、この取扱説明書には保証書が付いています。お読みになった後は、大切に保管してください。
 ●特に1~5ページの「安全上のご注意」を必ずお読みください。

安全上のご注意

*ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

*ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

- | | |
|--|---|
|  | 警告 誤った取り扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの |
|  | 注意 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性のあるもの |

絵表示例と絵表示の意味

- | | |
|--|--|
|  | ○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。 |
|  | ●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。 |

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。

警告



異常・故障時は直ちに使用を中止する。

〈異常・故障例〉

- ・異常なおいかししたり、煙が出る。
- ・電源プラグや電源コードが異常に熱くなる。
- ・電源コードに深い傷がある。
- ・発煙・発火・感電の恐れがあります。
- ・触れるとビリビリと電気を感じる。
- ・電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- ・本体、ミキサーボトル、タンブラーがひび割れたり変形している。

※すぐにスイッチを「Off」にし、コンセントから電源プラグを抜いて、点検・修理を依頼してください。

電源プラグは清潔にする。刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は拭き取る。

ショート・火災の原因となります。

延長コードは使用せず、定格 15A 以上のコンセントを単独で使用する。

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

感電・発火・発煙の恐れがあります。

使用前に、パッキンが確実に取り付けられていることを確認する。

パッキンがずれていると材料が漏れたり、カッターがパッキンに当たって切れ、調理物に混入する恐れがあります。



改造はしない。また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない。

火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店または小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。



AC100V 以外では使用しない。(日本国内専用)

火災・感電の原因となります。

電源コードを傷付けたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて使用したり、重い物を載せたり、はさみ込んだり、高温部に近づけたりしない。

電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

感電・ショート・発火の原因となります。

電源コードを本体・ミキサーボトル・タンブラーに巻き付けない。

電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

電源コードがよじれたままでは使用しない。

ショートして火花が出ることがあります。

カッターを露出したままで運転しない。

けがをする恐れがあります。

取り扱いに不慣れな方や子供だけで使用させたり、乳幼児の手の届く場所で使用したり保管しない。

やけど・感電・けがをする恐れがあります。

梱包材を子供の手の届く場所に置かない。

口や鼻をふさいだり、口に入れるなどして窒息する恐れがあります。

ミキサーボトル・タンブラーにスプーン・はしなど、調理材料以外を入れない。

けが・故障・破損の原因となります。

警告



調理以外の用途で使わない。

けが・故障・破損の原因となります。

ボトル台検知装置を細い棒などで押さない。

回転部が回転し、けがをする恐れがあります。

火のそばに置かない。

火災・感電の原因となります。



使用時以外は必ずスイッチを「Off」にし、電源プラグをコンセントから抜く。

けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。



本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない。

感電・ショート・故障の原因となります。



ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。

感電・ショート・けがの原因となります。

注意



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。
感電やショートして、発火することがあります。

スイッチが「Off」になっていることを確かめてから、電源プラグを抜き差しする。
けがの原因となります。

部品の取り付け・取りはずし・お手入れをするときは、スイッチを「Off」にし、電源プラグをコンセントから抜く。
けがをする恐れがあります。

移動させるときは、スイッチを「Off」にし、ミキサーボトルやタンブラーを持たず、本体を両手で持ち上げる。
故障・破損・けがの原因となります。

40℃以上の熱い材料は冷ましてから入れる。
熱い材料を入れると、ふきこぼれたりミキサーボトルやタンブラーが割れて、やけど・けがの原因となります。

連続運転は4分以内にします。4分運転するごとにスイッチを「Off」にして、2分休ませる。
繰り返し使用の場合は10回までとし、さらに使用の場合は1時間程度時間をあけてください。
モーターが過熱し、発煙・故障の原因となります。



禁止材料を使用しない。(P. 7 参照)
故障・破損の原因となります。

材料を定格容量以上入れない。
故障の原因となります。

不安定な場所やテーブルの端などで使用しない。
けがの原因となります。

材料を入れない状態での空回しは絶対にしない。
モーターやカッター部が傷み、故障の原因となります。

業務用として使用しない。
故障の原因となります。

落としたり投げつけるなど強い衝撃を与えない。
故障・破損の原因となります。

熱湯で洗ったり、食器洗い機を使用して洗わない。また、食器乾燥機・食器洗い乾燥機を使用して乾燥させない。
破損・変形の原因となります。

次の物を使用してお手入れしない。
・ベンジン、シンナー ・漂白剤、酸類 ・みがき粉、クレンザー ・たわし、金属たわし
破損・変色の原因となります。

ミキサーボトル・タンブラーに調理物を入れて長時間保存したり、冷蔵庫や冷凍庫で保存しない。
破損・変形・変色の原因となります。

ミキサーボトル・タンブラーを電子レンジ・オープン・オープンレンジで使用しない。
破損・変形の原因となります。

注意



運転中に移動させない。

けがの原因となります。

運転中にミキサーボトル・タンブラー・フタ・内フタの取り付け、取りはずしは行わない。

けがの原因となります。



カッターは鋭利なため、直接手を触れない。

けがの原因となります。



湿気の多い場所に保管しない。

絶縁劣化により感電することがあります。

知っておいていただきたいこと

安全装置（ボトル台検知装置）について

ご使用になる前に、ミキサーボトル・タンブラーに材料を入れた後、ボトル台をしっかりと取り付け、本体にセットしてください。正しくセットしないと、安全装置が働き、運転を開始しません。

運転前に、正しく取り付けられていることを確認してください。（P. 9、P. 13～P. 14参照）

運転について

連続運転は4分以内にしてください。4分運転するごとにスイッチを「Off」にして、2分休ませてください。

繰り返し使用する場合は10回までとし、さらに使用する場合は1時間程度時間をあけてください。

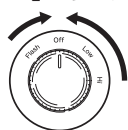
モーターが過熱し、発煙・故障の原因となります。

モーター保護装置について

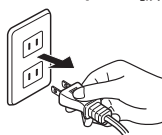
材料の入れ過ぎなどでモーターに負荷がかかるとモーター保護装置が働いて運転が止まりますが、故障ではありません。

以下の手順でなおしてください。

- ①スイッチを「Off」にする。

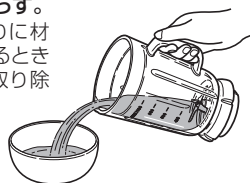


- ②電源プラグをコンセントから抜く。



- ③材料を半分に減らす。

カッターのまわりに材料が付着しているときは、ヘラなどで取り除いてください。



- ④20～30分後、電源プラグをコンセントに差し込み、運転を開始する。

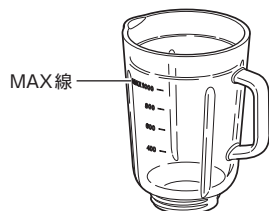
以上の処置をしても、たびたび運転が停止するときは、お買い上げの販売店、または小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。

定格容量について

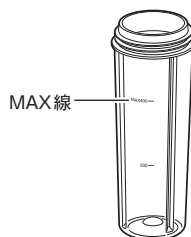
ミキサーボトル・タンブラーの定格容量以内でご使用ください。

定格容量（MAX線）以上の材料を入れて運転すると、材料があふれ出る恐れがあります。

- ミキサーボトル（定格容量：1000ml）



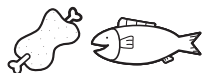
- タンブラー（定格容量：400ml）



禁止材料について

- 下記の材料は使用しないでください。
故障・破損の原因となります。

- 肉・魚類



- ねばり気の強い物

とろろいも、ゆでたじゃがいも、もち、ジャムなど

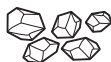


- 非常にかたい物、水分の少ない物、乾物類

大豆、冷凍食品、ウコン、穀物、ドライフルーツなど
※かたい種は取り除いてください。



- 市販のアイス、氷だけの粉碎、氷砂糖



- 泡立て・生地作り

- 大きい食材

※材料は 2 ～ 3cm 角に小さく切ってください。

甘味付けのためにはちみつなどを使用する場合は、食材のかくはんが終わった後にはちみつを加えて、なじませるために数秒かくはんしてください。

先に入れるとカッター付近で固まり、故障の原因となります。

40℃以上の熱い材料は冷ましてから入れてください。

熱い材料を入れると、ふきこぼれたりミキサーボトルやタンブラーが割れて、やけど・けがの原因となります。

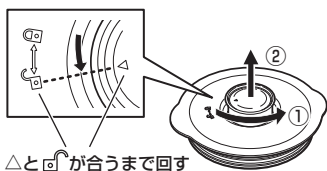
各部のなまえ

- 調理の途中に内フタを取りはずして、材料を追加することができます。

※必ずスイッチを「Off」にし、カッターの回転が止まってから取りはずしてください。材料の追加後は必ず内フタを取り付けてください。

取りはずしかた

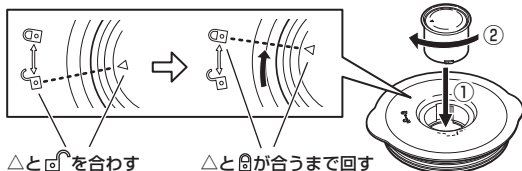
内フタの△印がフタの□印に合うまで回して引き抜きます。



△と□が合うまで回す

取り付けかた

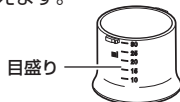
内フタの△印をフタの□印に合わせてはめ、内フタの△印がフタの□印に合うまで回します。



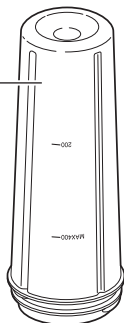
△と□を合わせる

△と□が合うまで回す

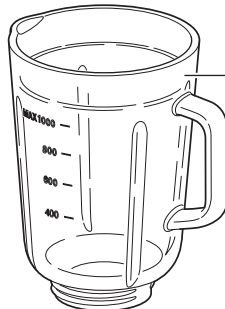
- 逆さまにすると計量カップとして使えます。



タンブラー※
(定格容量：400mℓ)



ミキサーボトル
(定格容量：1000mℓ)



●キャップ※



(裏側)
パッキン

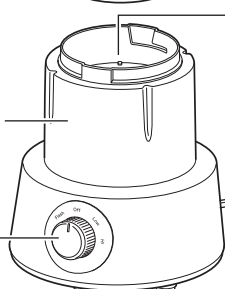


カッター

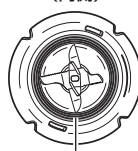
ボトル台

本体

スイッチ

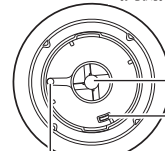


(内側)



パッキン

(内側)



回転部

ボトル台
検知装置
(P. 6 参照)

水抜き穴

方が本体に水が入ってしまった際に排水するための穴です。

電源コード

電源プラグ

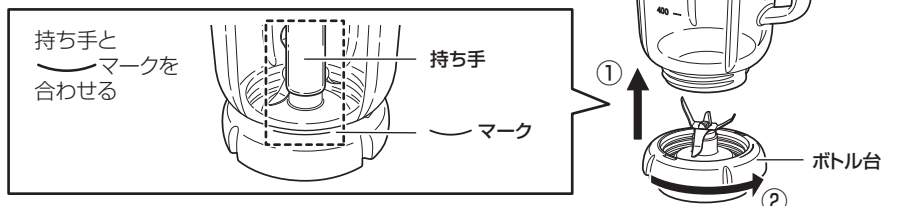
名称の横に※が付いているものは付属品です。

ミキサーボトルの使いかた

1. ボトル台をミキサーボトルに取り付けます。

- ① ボトル台をミキサーボトルにしっかりとめします。
- ② ミキサーボトルを支えてボトル台を矢印の向きに回し、ミキサーボトルの持ち手がボトル台の — マークの範囲にくるよう合わせます。

※ゆるみがないことを確認してください。



警告

パッキンがボトル台に確実に取り付けられていることを確認する。
パッキンがずれていると材料が漏れたり、カッターがパッキンに当たって切れ、調理物に混入する恐れがあります。

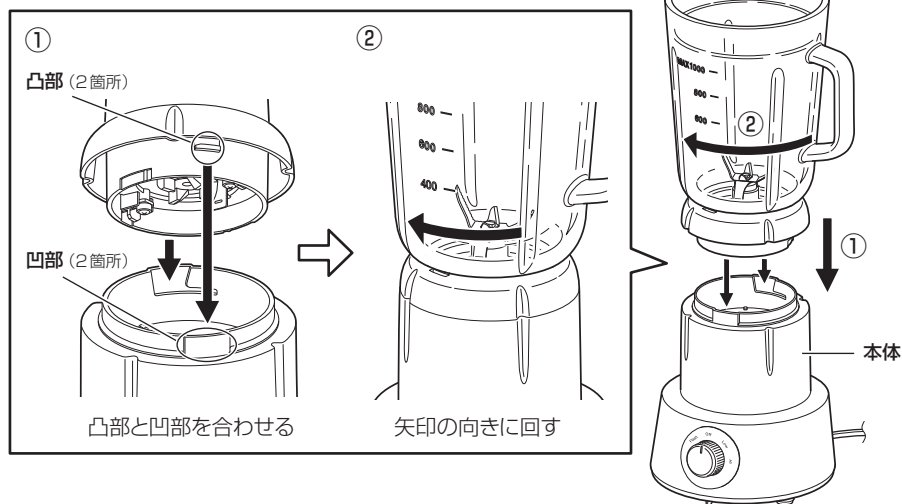


注意

カッターは鋭利なため、直接手を触れない。
けがの原因となります。

2. ミキサーボトル付きボトル台を本体に取り付けます。

- ① ボトル台の凸部を本体の凹部に合わせて差し込みます。
(ミキサーボトルの持ち手の方向は、左右どちらでも取り付け可能です。)
- ② 本体を支え、ミキサーボトル付きボトル台を矢印の向きにカチッと手ごたえを感じるまで回し、ロックします。



3. ミキサーボトルに材料を入れて、フタをします。

- ・ フタに内フタがしっかりと取り付けられていることを確認してください。

フタは突起が大きい方をミキサーボトルの注ぎ口に合わせ
て取り付けてください。
取り付け方向を誤ると、材料が
あふれる恐れがあります。

突起 (大)



- ・ 材料は2～3cm角に小さく切り、ミキサーボトルの定格容量(1000ml)以内で请使用ください。
- ・ 牛乳や水などの液体を適量入れて请使用ください。空回りの原因となります。
- ・ 材料は40℃以下に冷ましてから入れてください。

材料を入れる順番

- ①液体
- ②水分の多いやわらかい材料
- ③水分の少ないかたい材料

※必ず液体を入れてください。

※氷を入れる場合は最後に入れてください。

(家庭用冷蔵庫で製氷した角氷(2.5cm角以下×5個まで)を请使用ください。)

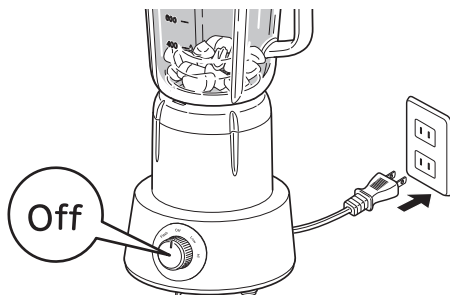


注意

- ・ 材料を定格容量以上入れない。
故障の原因となります。

- ・ 禁止材料を使用しない。(P. 7 参照)
故障・破損の原因となります。

4. スイッチが「Off」になっていることを確かめてから、電源プラグをコンセントに差し込みます。



ミキサーボトルの使いかた

5. フタを手で押さえながらスイッチを合わせます。

- ・ ご使用の際にはフタを手で軽く押さえてください。
振動などにより転倒したり、フタが浮き上がる恐れがあります。

スイッチ	カッターの動作
Hi	高速回転
Low	低速回転
Off	停止
Flash	合わせている間だけ回転 (指を離すと「Off」に戻ります)

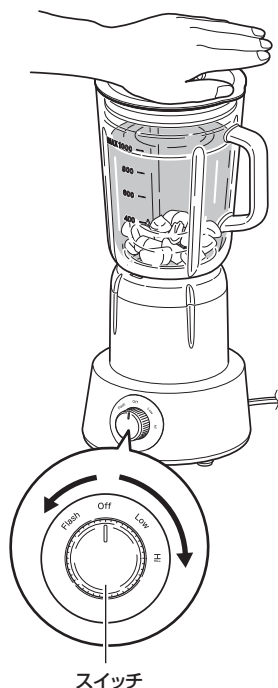


注意

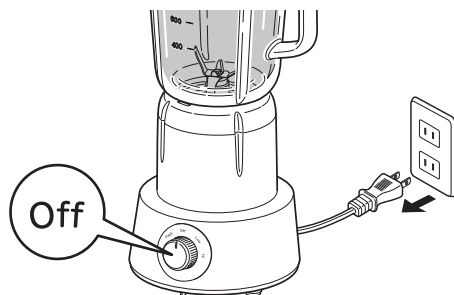
連続運転は4分以内にする。
4分運転するごとにスイッチを「Off」にし、2分休ませる。

繰り返し使用する場合は10回までとし、さらに使用する場合は1時間程度時間をあけてください。
モーターが過熱し、発煙・故障の原因となります。

- ・ カッターが回転しないときや回転が止まりそうなときは、スイッチを「Off」にし、材料の量を減らしてください。
- ・ 材料を追加するために内フタをはずすときは、スイッチを「Off」にし、必ずカッターの回転が止まってからはずしてください。追加後は必ず内フタを取り付けてください。



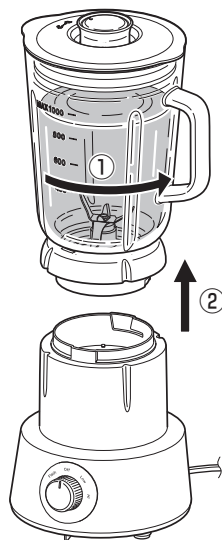
6. 調理が終わったら、スイッチを「Off」にし、電源プラグをコンセントから抜きます。



7. カッターの回転が止まったら、ミキサーボトル付きボトル台を本体から取りはずします。

本体を支え、ミキサーボトル付きボトル台を回転が止まるまで矢印の向きに回してロックを解除し、本体から引き抜きます。

- ・ 取りはずす際、調理物をこぼさないようご注意ください。



8. フタをミキサーボトルから取りはずし、調理物を取り出します。

ミキサーボトルを支え、フタの突起から押し上げるように取りはずします。

- ・ 取りはずす際、調理物をこぼさないようご注意ください。
- ・ ミキサーボトルの目盛りを目安に注いでください。



注意

ミキサーボトルに調理物を入れて長時間保存したり、冷蔵庫や冷凍庫で保存しない。

破損・変形・変色の原因となります。

使用後 お手入れをします。(P. 18 ～ P. 20参照)

タンブラーの使いかた

1. タンブラーに材料を入れます。

- ・ 材料は2～3cm角に小さく切り、タンブラーの定格容量（400mℓ）以内で请使用ください。
- ・ 牛乳や水などの液体を適量入れて请使用ください。
空回りの原因となります。
- ・ 材料は40℃以下に冷ましてから入れてください。

材料を入れる順番

- ① 水分の少ないかたい材料
- ② 水分の多いやわらかい材料
- ③ 液体

※必ず液体を入れてください。

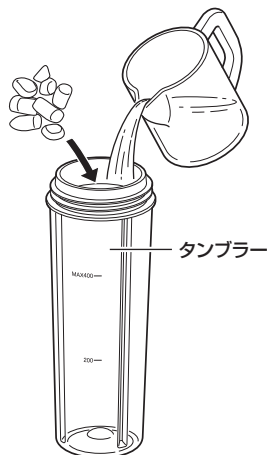
※氷を入れる場合は最初に入れてください。

（家庭用冷蔵庫で製氷した角氷（2.5cm角以下×5個まで）を请使用ください。）



注意

- ・ 材料を定格容量以上入れない。
故障の原因となります。
- ・ 禁止材料を使用しない。（P. 7参照）
故障・破損の原因となります。

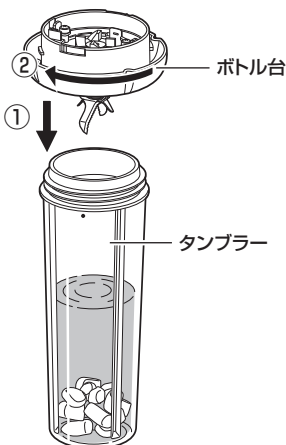
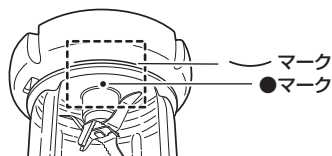


2. ボトル台をタンブラーに取り付けます。

- ① ボトル台をタンブラーにしっかりとめします。
- ② タンブラーを支えてボトル台を矢印の向きに回し、タンブラーの●マークがボトル台の——マークの範囲にくるよう合わせます。

※ゆるみがないことを確認してください。

●マークと
——マークを
合わせる



警告

パッキンがボトル台に確実に取り付けられていることを確認する。
パッキンがずれていると材料が漏れたり、カッターがパッキンに当たって切れ、調理物に混入する恐れがあります。

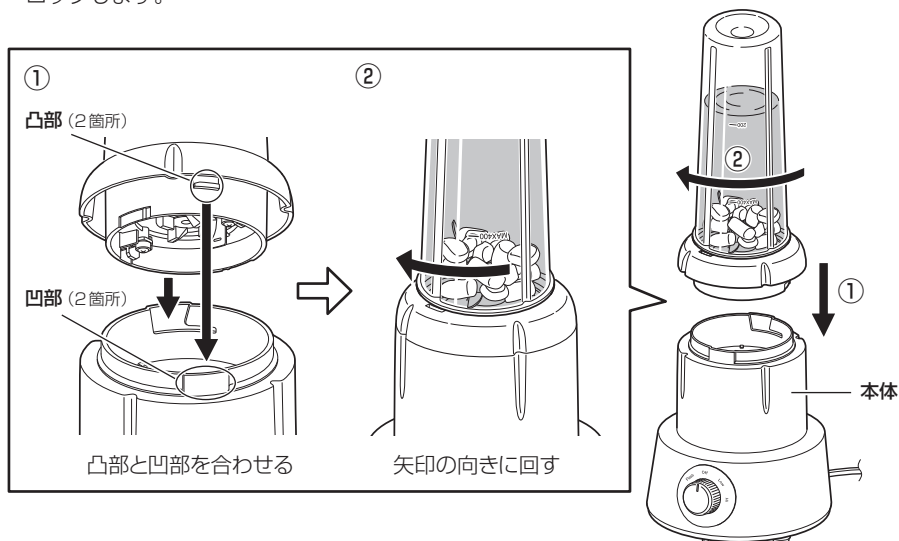


注意

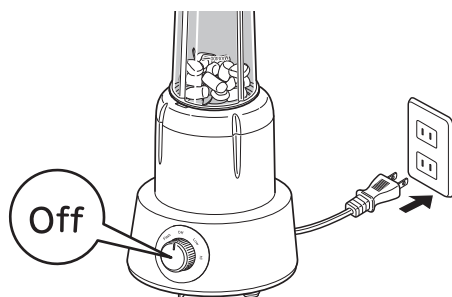
カッターは鋭利なため、直接手を触れない。
けが原因となります。

3. タンブラー付きボトル台を本体に取り付けます。

- ① タンブラー付きボトル台を逆さまにして、ボトル台の凸部を本体の凹部に合わせて差し込みます。
- ② 本体を支え、タンブラー付きボトル台を矢印の向きにカチッと手ごたえを感じるまで回し、ロックします。



4. スイッチが「Off」になっていることを確かめてから、電源プラグをコンセントに差し込みます。



タンブラーの使いかた

5. タンブラーを手で押さえながらスイッチを合わせます。

- ・ ご使用の際にはタンブラーを手で軽く押さえてください。
振動などにより転倒する恐れがあります。

スイッチ	カッターの動作
Hi	高速回転
Low	低速回転
Off	停止
Flash	合わせている間だけ回転 (指を離すと「Off」に戻ります)

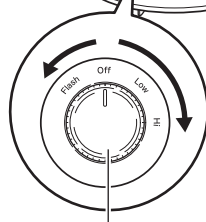
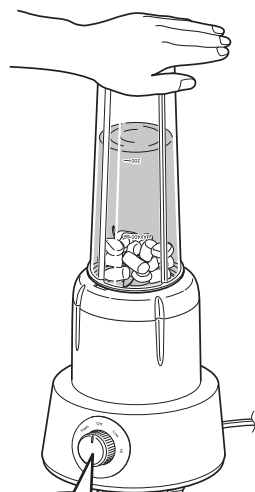


注意

連続運転は4分以内にする。
4分運転するごとにスイッチを「Off」にし
て、2分休ませる。

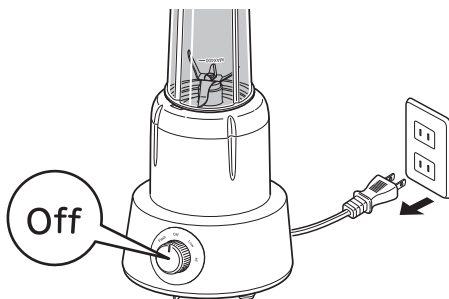
繰り返し使用する場合は10回までとし、さらに使用
する場合は1時間程度時間をあけてください。
モーターが過熱し、発煙・故障の原因となります。

- ・ カッターが回転しないときや回転が止まりそうなときは、
スイッチを「Off」にし、材料の量を減らしてください。



スイッチ

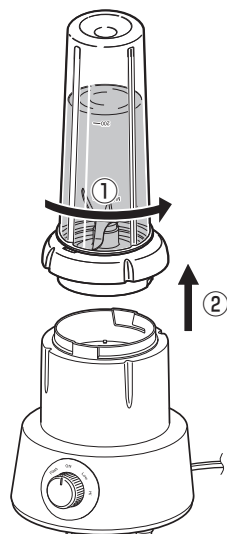
6. 調理が終わったら、スイッチを「Off」にし、電源プラグをコンセントから抜きます。



7. カッターの回転が止まったら、タンブラー付きボトル台を本体から取りはずします。

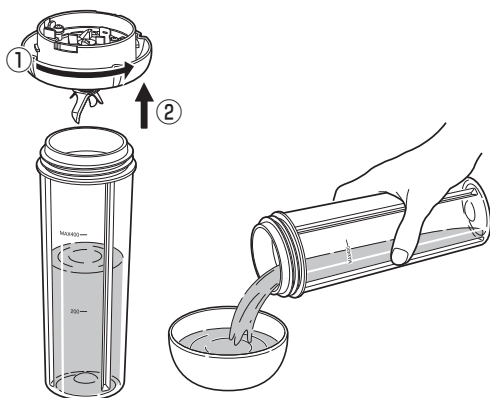
本体を支え、タンブラー付きボトル台を回転が止まるまで矢印の向きに回してロックを解除し、本体から引き抜きます。

- ・ 取りはずす際、調理物をこぼさないようご注意ください。



8. ボトル台をタンブラーから取りはずし、調理物を取り出します。

- ・ 取りはずす際、調理物をこぼさないようご注意ください。



タンブラーを持ち運ぶ場合は、付属のキャップを取り付けてください。



※キャップは完全密封ではありません。
倒したり傾けると調理物が漏れることがありますのでご注意ください。

⚠ 注意

- ・ タンブラーに調理物を入れて長時間保存したり、冷蔵庫や冷凍庫で保存しない。
破損・変形・変色の原因となります。
- ・ レモンなどかんきつ類の材料を入れた調理物には、キャップを使用しない。
変質・変色の原因となります。

使用後 お手入れをします。(P. 18 ~ P. 20参照)

バナナジュース

材料(1人分)	手順
(1) 牛乳 …………… 150mℓ (2) バナナ …………… 1本 (3) 角氷 …… 3個 (約2.5cm 角)	ミキサーボトルの場合 左記の順番でミキサーボトルに入れて、約1分間かくはんする。
(1) 角氷 …… 2個 (約2.5cm 角) (2) バナナ …………… 1/2本 (3) 牛乳 …………… 100mℓ	タンブラーの場合 左記の順番でタンブラーに入れて、約1分間かくはんする。

キウイフルーツジュース

材料(1人分)	手順
(1) 角氷 …… 3 個 (約2.5cm 角) (2) キウイ …………… 1/2 個 (3) レモン汁 …………… 適量 (4) 牛乳 …………… 150ml (5) はちみつ …………… 大さじ1	ミキサーボトルの場合 牛乳、レモン汁、キウイ、角氷の順番でミキサーボトルに入れて、約1分間かくはんする。そのあとにはちみつを加えて、数秒かくはんする。
	タンブラーの場合 角氷、キウイ、レモン汁、牛乳の順番でタンブラーに入れて、約1分間かくはんする。そのあとにはちみつを加えて、数秒かくはんする。

お手入れと保管のしかた

●必ずスイッチを「Off」にし、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

お手入れ ※ご使用のたびに、各部のお手入れをしてください。

⚠ 注意

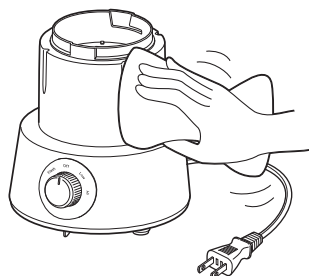
- ・熱湯で洗ったり、食器洗い機を使用して洗わない。また、食器乾燥機、食器洗い乾燥機を使用して乾燥させない。
破損・変形の原因となります。
- ・次の物を使用しない。
・ベンジン、シンナー ・漂白剤、酸類 ・みがき粉、クレンザー ・たわし、金属たわし
破損・変色の原因となります。

本体

やわらかい布で拭きます。
汚れが落ちにくい場合は、薄めた中性洗剤か水を
ふくませた布で拭き取った後、乾いた布でもう一度
から拭きします。

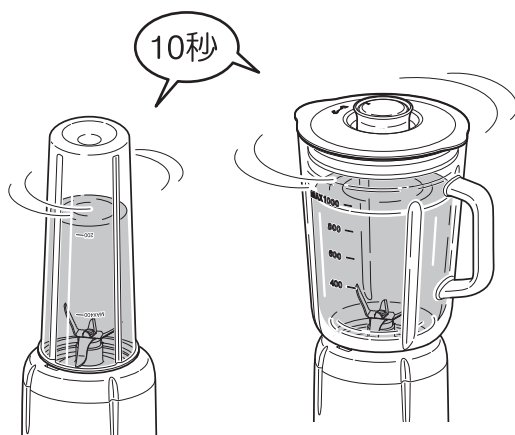
⚠ 警告

本体を水につけたり、本体に水をかけ
たりしない。
感電・ショート・故障の原因となります。



ミキサーボトル・タンブラー

台所用中性洗剤でよく洗い、水洗いをし、水気を取ります。
汚れがひどいときは、水と洗剤を入れ、約 10 秒運転し、よく水洗いします。



お手入れと保管のしかた

フタ・キャップ

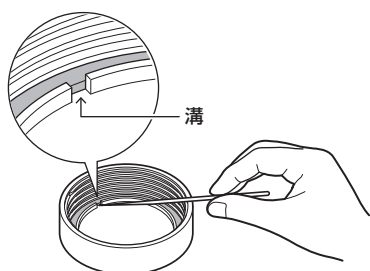
パッキンをはずして台所用中性洗剤でよく洗い、水洗いをした後、水気を取ります。
フタは内フタを取りはずして洗います。



パッキンの取りはずしかた

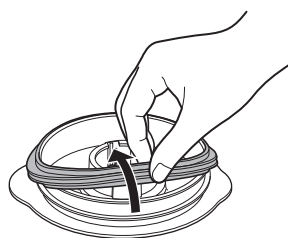
● キャップ

竹串など先の細い物を溝に差し込み、引っ掛けてはずします。



● フタ

手でめくるようにはずします。

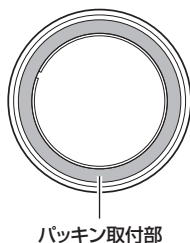


● 金串など金属製の物を使用してはささないでください。パッキンが破損する恐れがあります。

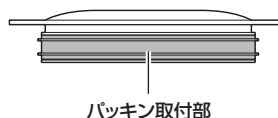
パッキンの取り付けかた

パッキン取付部に確実にはめ込みます。

● キャップ



● フタ



警告

お手入れ後は、パッキンを確実に取り付けます。

パッキンがずれていると材料が漏れたり、カッターがパッキンに当たって切れ、調理物に混入する恐れがあります。

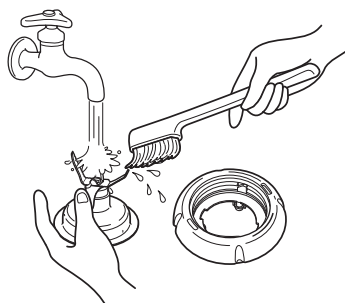
ボトル台

カッター部を取りはずし、パッキンをはずして台所用中性洗剤でよく洗い、水洗いをした後、水気を取ります。カッターは、ブラシ、たわしなどで洗います。



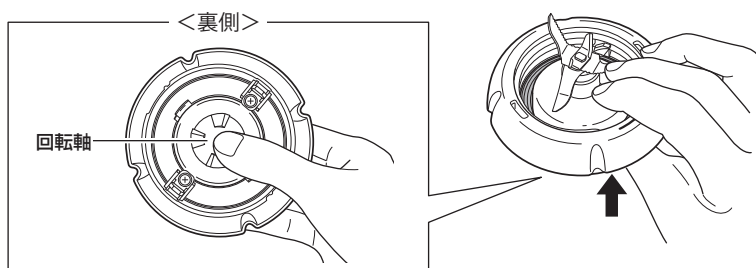
注意

カッターは鋭利なため、直接手を触れない。
けがの原因となります。



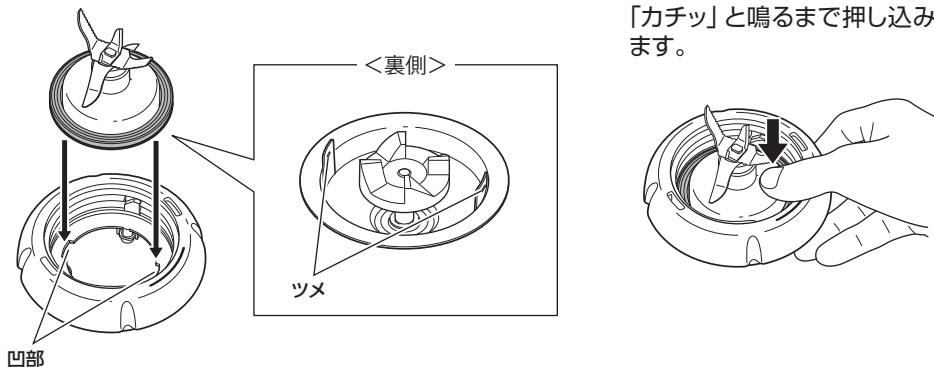
カッター部の取りはずしかた

カッターの土台の金属部分を軽く支えながらボトル台裏側から回転軸を押して取りはずします。



カッター部の取り付けかた

- ①ボトル台の凹部とカッターの土台裏側のツメを合わせます。 ②カッターの土台の金属部を「カチッ」と鳴るまで押し込みます。



パッキンの取りはずしかた・取り付けかた

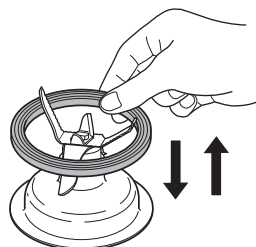
パッキンを持ち、ゆっくりと垂直に付けはずします。

- カッターでパッキンを傷付けないように注意してください。



警告

お手入れ後は、パッキンを確実に取り付けれる。
パッキンがずれていると材料が漏れたり、カッターがパッキンに
当たって切れ、調理物に混入する恐れがあります。



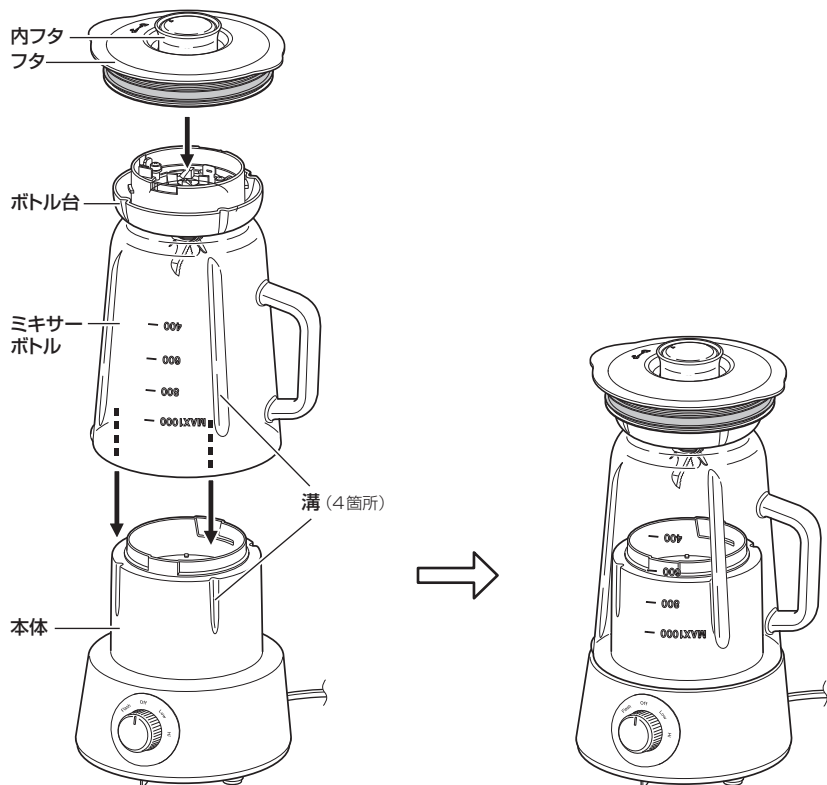
お手入れと保管のしかた

保 管

お子様の手の届かない場所、湿気やほこりの少ない場所に保管してください。

図のように、ボトル台を取り付けたミキサーボトルを逆さまにして本体にかぶせ、コンパクトに収納できます。

※ミキサーボトルの溝と本体の溝を合わせてください。



故障かな？と思ったら

- 修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、次の点検をしてください。
※材料を入れなおしたり、部品を取りはずし・取り付ける際は、必ずスイッチを「Off」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- それでも異常のある場合は、商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。

このようなとき	点 検	処置のしかた
途中で運転が止まる	●カッターに材料が引っかかっていませんか？	材料をすべて取り出して、正しい順番で入れなおしてください。(P. 10、P. 13参照)
	●材料を定格容量以上入れたり、禁止材料を使用していないませんか？	モーター保護装置が働いていることが考えられます。 材料を減らしたり、禁止材料を取り除いて、20～30分休ませてからご使用ください。(P. 6参照)
運転しない	●ミキサーボトルまたはタンブラーとボトル台が確実に取り付けられていますか？	正しく取り付けてください。(P. 9、P. 13参照)
	●ミキサーボトル付きボトル台またはタンブラー付きボトル台が本体に確実に取り付けられていますか？	正しく取り付けてください。(P. 9、P. 14参照)
	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	電源プラグを根元まで確実に差し込んでください。
	●カッターに材料が引っかかっていませんか？	材料をすべて取り出して、正しい順番で入れなおしてください。(P. 10、P. 13参照)
	●長時間連続運転している、または高負荷の材料をかくはんしていませんか？	モーター保護装置が働いていることが考えられます。20～30分休ませてからご使用ください。(P. 6参照)
材料が漏れる	●パッキンが正しく取り付けられていますか？	正しく取り付けてください。(P. 19参照)
	●ミキサーボトルまたはタンブラーとボトル台が確実に取り付けられていますか？	正しく取り付けてください。(P. 9、P. 13参照)
	●材料を定格容量以上入れていますか？	定格容量以内に材料を減らしてください。
	●フタに内フタが取り付けられていますか？	正しく取り付けてください。(P. 8参照)
空回りする	●液体の量が少な過ぎませんか？	液体を追加してください。
	●材料が大き過ぎませんか？	2～3cm角に小さく切って、入れなおしてください。
	●カッターに材料が引っかかっていませんか？	材料をすべて取り出して、正しい順番で入れなおしてください。(P. 10、P. 13参照)

仕様

	ミキサーボトル使用時	タンブラー使用時
電 源	AC100V 50/60Hz	
消 費 電 力	300W	
定 格 時 間	4分（4分間運転 2分間停止 10回まで）	
回 転 数（無 負 荷 時）	Hi：22000rpm LOW：17500rpm	
電 源 コード の 長 さ	約 1.0m	
定 格 容 量	1000mℓ	400mℓ
寸 法	約 164 (W) × 169 (D) × 350 (H) mm	約 164 (W) × 143 (D) × 350 (H) mm
質 量	約 2.2kg	約 1kg
付 属 品	タンブラー、キャップ	

※本機の仕様および外観については、改良のため予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

1. 保証書

- この取扱説明書には保証書が付いています。

保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

2. 修理を依頼されるとき

- 保証期間中は

商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証の記載内容により無料修理いたします。

- 保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3. 補修用性能部品の保有期間

- ミキサーの補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。

補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. アフターサービスについてご不明の場合

- アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。

愛情点検		★長年ご使用のミキサーの点検を！	
	このような 症状は ありませんか		ご使用 中 止
			このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを「Off」にし、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店にご相談ください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。

〈利用目的〉

お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理対応のみを目的として使用させていただきます。

なお、この目的のために小泉成器株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

〈業務委託の場合〉

上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

保証・無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った**正常な使用状態で保証期間内に故障**した場合、「**無料修理**」致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、**商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。**
3. **ご購入、ご購入品等**で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、取扱説明書の小泉成器株式会社「修理センター」へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下等による故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、落雷、水害、その他の天災地変、異常電圧による故障および損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えた場合。
 - (ト) 譲渡、転売、リサイクル店（中古品）、中古販売店、オークション等により入手された場合。
5. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料はお客様の負担となります。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。日本国外からの修理依頼や補修用部品・消耗部品の発送依頼には対応しておりません。

Effective only in Japan. We do not offer repair service or dispatch maintenance parts or consumables internationally.
7. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または取扱説明書の小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理について詳しくは取扱説明書の「アフターサービスについて」をご覧ください。

ミキサー

保証書 持込修理

本書は、本書記載内容（裏面記載）で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

型番	KMX-1001		
お買い上げ年月日	年	月	日
無料修理 保証期間	対象部分	期間（お買い上げ日より）	
	本体	1 年	
お客様	お名前	様	
	ご住所		
販売店	店名・住所・電話		

★販売店の皆様へのお願い 必ず全項目をご記入、ご捺印の上、お客様にお渡しください。
小泉成器株式会社 本社 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL.06(6262)3561

お客様相談窓口

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

ご意見・ご質問について

お客様相談窓口



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (07) 5555

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL.06 (6262) 3561 FAX.06 (6268) 1432

修理に関するお問い合わせ

東日本修理センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒344-0127 埼玉県春日部市水角1190 TEL.048 (718) 3340 FAX.048 (718) 3350

西日本修理センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL.06 (6613) 3145 FAX.06 (6613) 3196

部品に関するお問い合わせ

部品センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (00) 3211

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL.06 (6613) 3211 FAX.06 (6613) 3299

小泉成器株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号
TEL.06 (6262) 3561 FAX.06 (6268) 1432

受付時間：平日9：00～17：00
(土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

2023年10月現在(所在地、電話番号などについては変更
がある場合がありますので、その節はご容赦願います。)